

マツシロ株式会社

2019年度 環境経営レポート

認証・登録番号 0001034

(対象期間：2019年6月1日～2020年5月31日)



B I Y 防災バッグ



SDGs 活動の一環として
1枚につき5円を子供達の貧困を
解決する基金に寄付します。



作成日：2020年8月22日

更新日： 年 月 日

この紙は端紙を使用しています

■ごあいさつ

新型コロナウイルスの発生・蔓延により、3月から経済活動を始め生活様式の大きな変化が見られました。このような状況のもと、会社の存続と発展そして世の中に寄与するため、何をなさなければいけないのかという難問に立ち向かっているのが現状です。その一つの行動にエコアクション 21 があると考えます。環境・SDG s を柱に据え、エコアクション 21 を全社一丸となって活動することで、この難局を乗り切って希望のある未来に向かって前進したいと考えております。

2020 年 9 月

代表取締役社長 松城幹夫

環境経営方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみになってしまう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

・ 行動指針

1. 地球温暖化緩和のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 有害化学物質の使用禁止
5. グリーン調達並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- ・ 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2005 年 10 月 21 日

改定日：2014 年 6 月 24 日

代表取締役社長 松城 幹夫

取組の対象組織・活動

■組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 マツシロ株式会社
 代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
 本社/工場：大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 物流管理課：山本 豪 TEL：072-962-1431
 担当者 物流管理課：山本 豪 TEL：072-962-1431
- (4) 事業内容
 紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
 雑貨小物の製造・企画・販売
 主要製品：紙・ポリプロピレン完全分別紙袋、ポリプロピレンビニール被せ紙袋、
 レジかご対応バッグ(エコマイラインバッグ)、環境対応買い物袋 等
 ホームページ：<http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
 主要製品生産量 201.3 トン/年
 従業員 12名
 本社/工場延べ床面積 1,515 m²
- (6) 事業年度
 6月～5月

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：マツシロ株式会社
 活動：紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売

■環境目標とその実績

本社/工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年 度	2013 年度	2019 年度		2020 年度	2021 年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ (0.493kg-CO ₂ /kWh)	(kg-CO ₂)	32,190.44	24,464.73	20,901.72	24,464.73	24,464.73
自動車燃料の削減	(kg-CO ₂)	9,815.75	7,361.81	6,611.78	7,361.81	7,361.81
都市ガス	(kg-CO ₂)	—	—	—	—	—
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		42,006.19	31,826.54	27,513.50	31,826.54	31,826.54
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	2,880.00	1,872.00	1,435.00	1,872.00	1,872.00
節水	(m ³ /年)	80.00	63.20	810.00	63.20	63.20
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	6,192.66	8,979.36	7,969.02	8,979.36	8,979.36

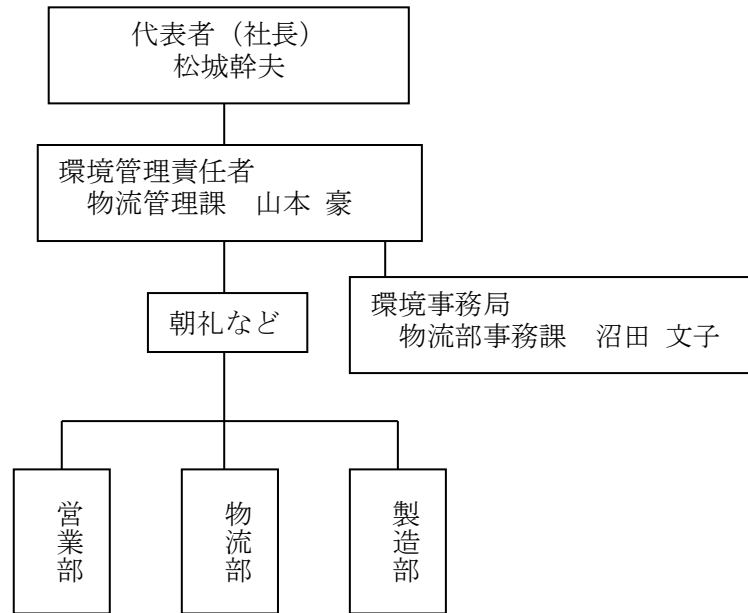
※有害化学物質の使用禁止は、製品への環境配慮として取り組む

※グリーン調達は、製品への環境配慮及び電力の省エネ、自動車燃料の削減手段として取り組む

■環境経営組織図及び役割・責任・権限表（実施体制の構築）

マツシロ株式会社 環境経営システム組織図

更新日 2020年2月15日



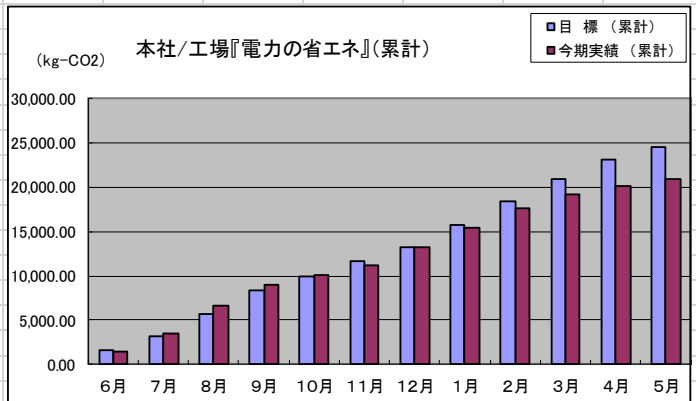
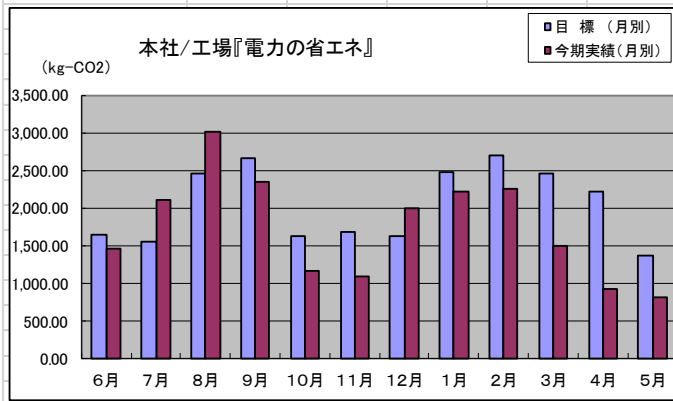
	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> 責任部門における環境方針の周知 責任部門の従業員に対する教育訓練の実施 責任部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 責任部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成 責任部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
朝礼など	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画の審議 環境活動実績の確認・評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■環境活動の取り組み計画と評価

本社/工場

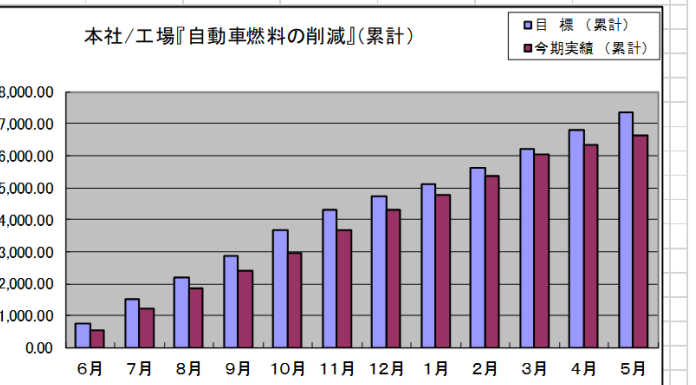
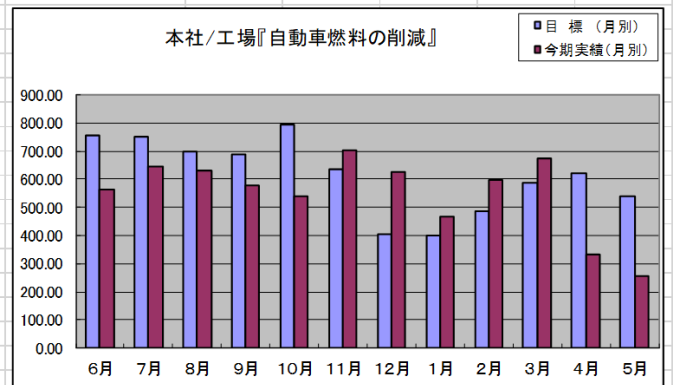
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
①電力の省エネ (基準年度比 76%) ・エアコンを省エネタイプに更新 ・省エネ機器の導入	基準 : 32,190.44kg-CO2 目標 : 24,464.73kg-CO2 実績 : 20,901.72kg-CO2 基準比 : 64.93% 35.07%削減 目標比 : 85.44% 14.56%削減	(目標達成) 省エネエアコンの導入により目標達成、今後も体調管理に留意しつつ節電に取り組んでいきます。 目標達成の為、次年度削減比を 65% にします。

(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (月別)	1,636.60	1,557.92	2,460.15	2,662.10	1,623.11	1,679.32	1,630.98	2,474.01	2,704.44	2,452.66	2,215.11	1,368.33
今期実績 (月別)	1,457.80	2,097.22	3,019.13	2,354.57	1,164.47	1,095.94	1,996.16	2,220.97	2,254.98	1,503.65	920.43	816.41
(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (累計)	1,636.60	3,194.52	5,654.67	8,316.77	9,939.89	11,619.20	13,250.18	15,724.20	18,428.64	20,881.29	23,096.40	24,464.73
今期実績 (累計)	1,457.80	3,555.02	6,574.16	8,928.72	10,093.19	11,189.13	13,185.29	15,406.25	17,661.23	19,164.88	20,085.31	20,901.72



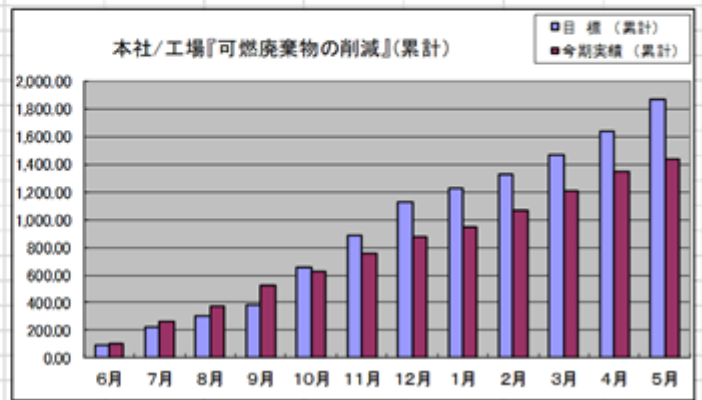
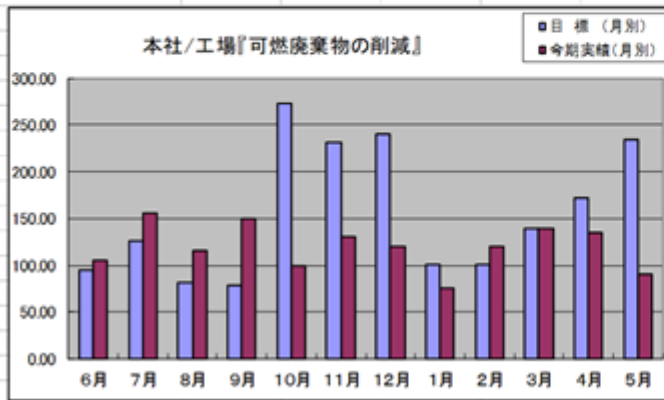
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
②自動車燃料の削減 (基準年度比 78%) ・営業ルート効率化 ・加工所への車使用頻度の削減	基準 : 9,815.75kg-CO2 目標 : 7,361.81kg-CO2 実績 : 6,611.78kg-CO2 基準比 : 67.36% 32.64%削減 目標比 : 86.36% 13.64%削減	(目標達成) 4月以降の車の使用頻度が減り目標達成しました。 目標達成の為、次年度削減比を 67% にします。

(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (月別)	754.26	749.83	697.47	689.38	796.95	637.00	404.82	398.22	485.91	587.03	620.46	540.48
今期実績 (月別)	562.28	646.20	628.83	578.58	539.78	703.49	628.08	465.48	598.36	674.20	331.25	255.26
(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (累計)	754.26	1,504.09	2,201.56	2,890.94	3,687.89	4,324.89	4,729.71	5,127.93	5,613.84	6,200.87	6,821.33	7,361.81
今期実績 (累計)	562.28	1,208.48	1,837.30	2,415.88	2,955.66	3,659.15	4,287.23	4,752.72	5,351.07	6,025.27	6,356.52	6,611.78



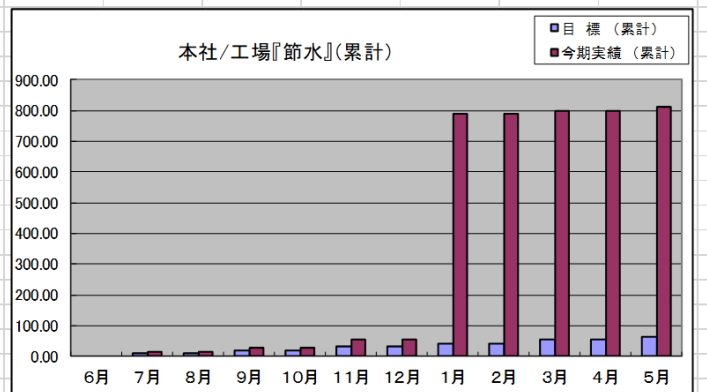
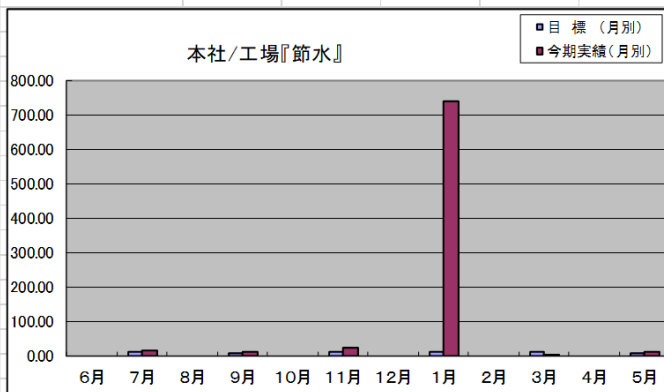
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
③可燃廃棄物の削減（基準年度比 65%） <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別と削減 ・断裁ミスの削減 ・廃棄製品の再利用 ・端紙の使用 ・ミスコピー及びミスプリントの防止 ・スキャンによる資料保管でペーパーレス化の推進を図る 	基準：2,880.00 kg 目標：1,872.00 kg 実績：1,435.00 kg 基準比：49.83% 50.17%削減 目標比：76.66% 23.34%削減	（目標達成）前年度の未達要因の倉庫移動による不用品廃棄が無くなり目標達成。 目標達成の為、次年度削減比を 50%にします。

(kg)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（月別）	94.25	126.75	81.25	78.00	273.00	230.75	240.50	100.75	100.75	139.75	172.25	234.00
今期実績（月別）	105.00	155.00	115.00	150.00	100.00	130.00	120.00	75.00	120.00	140.00	135.00	90.00
(kg)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（累計）	94.25	221.00	302.25	380.25	653.25	884.00	1,124.50	1,225.25	1,326.00	1,465.75	1,638.00	1,872.00
今期実績（累計）	105.00	260.00	375.00	525.00	625.00	755.00	875.00	950.00	1,070.00	1,210.00	1,345.00	1,435.00



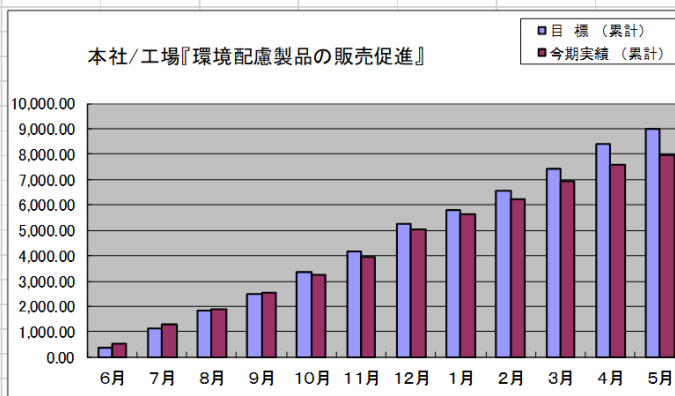
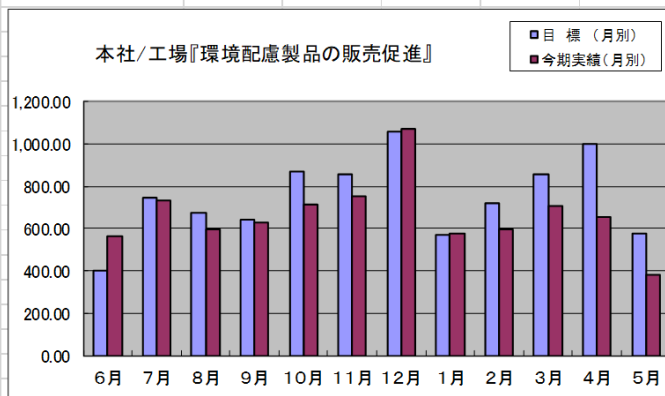
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
④節水（基準年度比 80%） <ul style="list-style-type: none"> ・雨水利用による植木の水やり ・節水弁（バルブ）取付け 	基準：80.00 m ³ 目標：63,20 m ³ 実績：810.00 m ³ 基準比：1,012.50% 1,012.50%増加 目標比：1,281.65% 1,281.65%増加	（目標未達成）1月の敷地内解体工事による一時的な使用量増により大幅な使用量増加による未達成。 来年度は通常使用の為目標達成を目指す。 目標未達成の為、次年度削減比を80%のままにします。

(m ³)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（月別）	0.00	11.06	0.00	9.48	0.00	11.06	0.00	10.27	0.00	11.85	0.00	9.48
今期実績（月別）	0.00	15.00	0.00	13.00	0.00	26.00	0.00	738.00	0.00	6.00	0.00	12.00
(m ³)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（累計）	0.00	11.06	11.06	20.54	20.54	31.60	31.60	41.87	41.87	53.72	53.72	63.20
今期実績（累計）	0.00	15.00	15.00	28.00	28.00	54.00	54.00	792.00	792.00	798.00	798.00	810.00



取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
⑤環境配慮製品の販売促進 （基準年度比 145%） ・エコマーク取得 ・有害化学物質の使用禁止 ・再生紙の使用 ・新商品の開発	基準：6,192.66 万円 目標：8,979.36 万円 実績：7,969.02 万円 基準比：128.68% 28.68%増加 目標比：88.75% 11.25%減少	（目標未達成）4月以降のイベント、行事の中止により販売数量が落ち込んだ。 目標未達成の為、次年度増加比を 145%のままにします。

(万円)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（月別）	402.64	743.78	674.81	643.17	872.93	856.07	1,061.19	569.65	722.80	854.84	1,002.04	575.45
今期実績（月別）	562.42	729.79	597.62	628.51	710.50	749.74	1,070.37	579.67	595.62	705.31	657.92	381.55
(万円)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（累計）	402.64	1,146.42	1,821.23	2,464.39	3,337.32	4,193.39	5,254.58	5,824.23	6,547.03	7,401.87	8,403.91	8,979.36
今期実績（累計）	562.42	1,292.21	1,889.83	2,518.34	3,228.84	3,978.58	5,048.95	5,628.62	6,224.24	6,929.55	7,587.47	7,969.02



【再生紙使用商品】

古紙パルプ配合率 30%以上

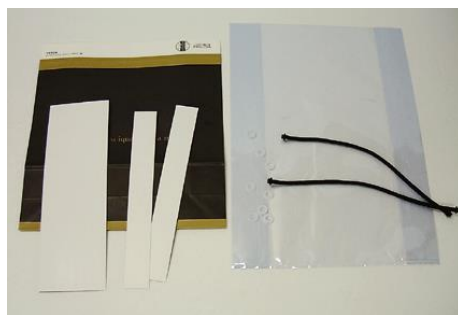


白無地手提げ袋

白無地コーティングバッグ

白無地ビニールカバーバッグ

【紙とポリプロピレンに完全分別可能商品】



【レジかご対応バッグ エコマイラインバッグ】



【環境対応買い物袋 かんたんバッグ】



■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社/工場
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
騒音規制法	断裁機	○
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫	○廃棄
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○廃棄

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し

見直しに必要な情報			
管理責任者の報告及び改善への提案			
[取り組み状況の評価結果]			
①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による）			
・2020年6月3日に定期評価を実施した結果順守されている			
②問題点の是正処置及び予防処置の状況			
・2019年度『節水』『環境配慮製品の販売促進』が目標未達成の為、目標達成へ向けての取り組みかたを是正処置する			
③前回までの代表者の指示事項への対応			
・目標数値の変更に伴う取り組姿勢と意識の向上を心掛けた			
・FC大阪とスポンサー契約。SDGsの取り組みとしてFC大阪子ども基金へ防災バッグ1枚販売に対して5円を寄付			
<改善への提案>			
・なし			
[目標・環境活動計画の達成状況]			
(詳細は環境活動計画書による)			
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の省エネ	○	○	体調管理に留意しつつ可能な限り節電に取り組む
自動車燃料の削減	○	○	計画的な効率の良い車の使用による削減
可燃廃棄物の削減	○	○	分別及び再利用による削減
節水	×	○	無駄な使用は控える
環境配慮製品の販売促進	×	○	環境だけではなく防災やSDGsにも力を入れる
<改善への提案>			
・目標達成の為の取り組み方法を考えて行動して下さい			
[周囲の変化の状況]			
①外部コミュニケーション記録より			
・なし			

②環境関連法規制等の動向他
・なし
<改善への提案>
・なし
[代表者が自ら得た情報]
・なし
代表者による見直し
変更の必要性の有無・指示事項
[環境方針]
変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
・変更なし
[目標・活動計画]
変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
・変更なし
[その他]
変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
・変更なし
[総括]
<p>全体に関しては、この半年の新型コロナによる状況の変化に対応しながら良くできていると評価します。目標未達の節水に関しては、旧社屋の解体などの工事により水の使用が大幅に増えたことが原因と考えられるため、次年度に結論は持ち越すべきと考えます。現社屋のリニューアルにより、トイレの水回りと電気を自動にし電気をすべてLEDにしたこともあり、次年度または次々年度は電力の省エネ・節水の目標変更の検討が必要。</p> <p>環境配慮製品の販売促進に関しては、コロナ禍における生活様式の変更などにより数量を求めるのではなく、新製品の開発や継続に重心を変更すべきと考えます。</p> <p>SDGsへの会社全体の取り組みをこれからも継続・進化させていけるようにしていきたいと考えます。</p>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1・貧困をなくそう

BIY防災バッグを購入いただくと1枚につき5円をFC大阪の「こども基金」に寄付
これは貧困にあえぐ日本の子供たちをなくすことを目的としている

11.住み続けられる街づくりを

都市の防災環境改善に関する目標。BIY 防災バッグは防災に必要な商品がイラストで記載されており、自分でカスタマイズすることで防災意識の向上につなげることを目指している
政府の内閣官房 「国土強靱化民間の取り組み事例集」に掲載された

13.気候変動に具体的な対策を

地球温暖化が招く気候変動やその影響を軽減するため、電気をすべてLEDに替え省エネの推進

14.海の豊さを守ろう

プラスチックごみ削減のため、エコバッグの製造販売